

第 54 回日本生物物理学会年会

ニコンインステック ランチョンセミナー

ダイナミクス・サイトメーター – マイクロ
フルイディクス・タイムラプス顕微観察法で
得られる細胞動態の高精度統計情報

若本 祐一 先生 (東京大学 大学院総合文化研究科)

日時 2016年11月27日(日)12:30～13:20

会場 つくば国際会議場 F会場(中会議室406)

顕微鏡を用いた細胞のタイムラプス計測は、遺伝子発現量の時間変化や、成長・分裂ダイナミクスなど、1細胞レベルで起こる様々な状態変化の情報を得る技術である。近年、タイムラプス計測をマイクロ流体デバイスと組み合わせて行うことで、これまでに比べ、質的にも量的にもはるかに優れた細胞ダイナミクスの情報が得られるようになりつつある。特に画像解析技術が発展したこともあり、一度の実験で何十万個というレベルの細胞から状態変化の情報が得られるようになってきた。これは、フローサイトメーターのような細胞の一時点の状態計測からは不可能な、動的情報の高精度統計解析を実現する。今回のランチョンセミナーでは、ニコン Ti-E 顕微鏡とマイクロ流体デバイスを組み合わせることで実現した「ダイナミクス・サイトメーター技術」について紹介し、これを用いることで、どのような新しい情報が得られるのか紹介したい。



株式会社 **ニコン インステック**

バイオサイエンス営業本部

電話 03-6433-3982

URL <http://www.nikon-instruments.jp/>